

花みどり振興財団

# 経営状況説明書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の  
平成26年度事業計画

# 目 次

	頁
1 平成 26 年度事業計画の概要 . . . . .	1
2 平成 26 年度予算の状況 . . . . .	7

## 公益財団法人浜松市花みどり振興財団の平成 26 年度事業計画について

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の平成 26 年度事業計画を地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 鈴木 康 友



平成 26 年度

# 事業計画の概要

## 平成 26 年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

### 1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団では、昨年度の公益財団法人へ移行後もはままつフラワーパークを含めた館山寺総合公園の適切な管理運営を通して「花とみどりのまち・浜松」の象徴的施設にふさわしい「感動」と「安らぎ」あふれる魅力ある空間づくりを進めてまいりました。

また、昨年は「浜名湖花博 2014」開催の準備年ということもあり、浜松商工会議所をはじめ、団体、企業、個人の皆様から福祉車両や樹木の寄附を頂く中で、管理棟やトイレをはじめとした公園施設の改修等を市と連携して行い、市民サービスの向上に努めました。

本年度も、当財団の主要施策である花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺の地域振興等のもとより、近隣児童等研修生の職場体験受入及び学校出張講座等「花育」と呼ばれる教育振興事業や園芸福祉（公園福祉）事業の積極的な推進により、心身の健全な発達に貢献する生涯学習拠点としての施設づくりも目指してまいります。

また今まで以上に内外に園の存在感をアピールし、積極的な誘客活動を進めていく中で、1,300本の桜と50万球のチューリップが咲き誇る圧倒的なボリューム感に満ちた庭園を創出し、「世界一美しい桜とチューリップの庭園」をキャッチフレーズにした営業活動の強化とともに、梅、スイセンの冬季から3月から6月にかけて桜、チューリップ、フジ、バラ、花しょうぶ、あじさい等をメインに季節ごとの花の回廊づくりによる園の魅力アップを図ります。

折しも平成26年3月21日より6月15日までの87日間、花と緑の一大園芸イベント「浜名湖花博2014・第31回全国都市緑化しずおかフェア」が当フラワーパーク等を会場に開催されます。

このイベントを通じて、長年にわたり財団が培ってきた豊かな知識・園芸経験を多くの市民の皆様還元するべく、県、市等行政機関や花博実行委員会等関係機関とも緊密に連携を取りながら、「新生フラワーパーク」を強烈に印象付ける多彩で魅力的な花々の展示を行ってまいります。この花博10周年記念事業を成功裏に終了させ、国内外からの集客の増員を図ることで、財団経営基盤の健全化にも努めてまいります。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、公益財団法人として適切な事業進捗に努めるとともに、花みどり文化の拠点機能整備を図り、顧客満足度の向上や花相談窓口の充実等、創意工夫溢れる園運営を実現してまいります。

## 2 事業内容

### 【公益目的事業】

#### 「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務  
＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞
  - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
  - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
  - ウ 浜松 PC ガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成
  - エ ラン生産者組合との協力連携によるランの育成及び配布
  
- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務  
＜生活の質の向上や生きがいづくりとしての地域密着型生涯学習活動の推進＞
  - ア 市民からの日常的な園芸相談の受入
  - イ 「塚本こなみ園芸教室」ほか各種園芸教室の開催
  - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
  - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
  - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
  - カ 「車椅子押し隊」学生ボランティアの参加受入による健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育の推進
  - キ 蛍の夕べや各種教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
  
- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務  
＜花みどりの情報発信による市民福祉の増進と浜名湖周辺地域社会の健全な発展と振興＞
  - ア 障害者や高齢者、社会参画が困難な人々への園芸作業機会を通じた公園福祉（園芸福祉）事業の実施
  - イ 観光圏振興に対する取り組みとして「浜名湖ワンストップ窓口（花の道の駅構想）」の整備・充実
  - ウ 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進

- エ 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の促進
- オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への積極的参画
- カ 花と緑を育む活動に協力いただく企業等に対する幅広い分野での異業種交流の推進
- キ 館山寺温泉観光協会と連携したガイド付き蛍ツアーの開催等「蛍の見られる温泉街」の実現

(4) 花き類の栽培展示業務

<3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供>

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 熱帯スイレンの展示
- ウ 花いかだによる水上装飾展示
- エ 早春咲きのハナナと、7万球のラップズイセンの展示
- オ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- カ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- キ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- ク 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- ケ モザイクカルチャー作品（「ほほえみのハーモニー」等）の装飾とその維持管理
- コ （新規）植栽数の大幅な増によるチューリップ展示の更なる充実（50万球）
- サ （新規）ウエルカムガーデン、スマイルガーデン等花博終了後の新設花壇の活用と新たな癒し空間の創出
- シ 藤棚の整備とその維持充実

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

<誰もが安心して利用できる公園としての快適な癒しの空間の提供>

- ア 夜間開園の充実（夜桜、蛍の夕べ、クリスマス等）
- イ ユニバーサルデザインに対応した散策園路やトイレの改修整備・充実
- ウ 園内移動車両の整備・充実
- エ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持
- オ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営
- カ 大温室ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進
- キ 新規施設「花みどり館」での体験学習機能の整備・充実
- ク 熱帯植物の育成管理
- ケ 球根ベゴニアの育成管理
- コ サボテン類、珍しい草花の育成管理
- サ 絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の育成管理



(6) 舘山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

- ア 花の図書館として名高い「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」を併せた、日本の都市公園 100 選でもある「舘山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営
- イ 動物園との合同イベント実施による誘客の取り組み

(7) 浜名湖花博開催 10 周年記念事業の円滑な運営実施

- ア 平成 26 年度開催「浜名湖花博 2014・第 31 回全国都市緑化しずおかフェア」の成功と地域振興拠点の形成

**【収益目的事業】**

**「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」**

- (1) 園内の売店・レストラン（カフェ含む）・遊具・自動販売機の活用によるお客様の利便性の向上及び販売等に関する業務

**3 業務の合理化など経営健全化への取り組み**

- (1) 人件費削減・職員数の見直し

嘱託職員の採用や定年退職後職員の再雇用等、弾力的な人員配置や臨時雇用により対応し、人件費の削減を図ります。

区 分	本年度	前年度	増減
正規職員数	25 人	25 人	0 人
人 件 費	145,269 千円	155,133 千円	△9,864 千円

- (2) CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）の考え方を導入するとともに、5S委員会での取り組み等により顧客満足度の的確な把握とお客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

- ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等をマニュアル化します。

イ アンケートで毎月数値化される「顧客満足度値」の向上を図ります。  
(平成 26 年度目標満足度値 4.5 点 平成 20～24 年度平均値 4.4 点/5 点満点)

(3) 教育振興事業・自然環境教育活動の推進

平成 24 年度から小中学校の学習指導要領が改訂され、生物育成分野が必修となったことを契機に、学校教育における自然、生態系、植物分野の学習を補完し、自然環境に深い造詣を有する人材育成に取り組みます。具体的な取り組みは次のとおりです。

ア 幼児と低学年の児童を対象（花や緑を通じて自然と人との関わりの入口に案内する事を目的・・・芝人形作り、ポット苗作り教室、親子寄植え教室等）

イ 中・高学年の児童を対象（生命力に感動し、それを守ることの大切さを実感させる事を目的・・・フラワーアレンジメント、ハーブ教室等多彩な教室を展開）

体験学習機能を充実させることで、幅広い客層の誘客効果を高め、入園者増を図ります。

平成 26 年度

予 算 の 状 況

## 平成26年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 収支予算書

(総則)

第1条 平成26年度公益財団法人浜松市花みどり振興財団事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

入園人員(有料無料計) 330,000人

(収入及び支出)

第3条 収入及び支出の予定額は、次のとおり定める。

収 入		千円
収入の部		442,122
1 経常収益(入園料、指定管理料等)		442,122
2 経常外収益		0

支 出		千円
支出の部		442,122
1 経常費用(事業費、管理費)		442,122
2 経常外費用		0

(一時借入金)

第4条 一時借入金の限度額は、50,000千円と定める。

(理事会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第5条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、理事会の議決を経なければならない。

	千円
(1) 給与費	145,269
(2) 交際費	30

予定貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	10,000
預金	184,926
貯蔵品	5,000
未収金	50,000
立替金	0
流動資産合計	249,926
2 固定資産	
(1)基本財産	
預金	55,000
基本財産合計	55,000
(2)特定資産	
退職給付特定資産	50,485
修繕引当特定資産	0
特定資産合計	50,485
(3)その他固定資産	
有形固定資産	11,000
無形固定資産	0
その他出資金	0
その他固定資産合計	11,000
固定資産合計	116,485
資産合計	366,411

科 目	金 額
II 負債の部	
1 流動負債	
買掛金	10,000
未払金	75,000
未払費用	5,000
預り金	0
修繕引当金	0
流動負債合計	90,000
2 固定負債	
退職給付引当金	150,485
長期借入金	0
固定負債合計	150,485
負債合計	240,485
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
寄付金	50,000
補助金	5,000
指定正味財産合計	55,000
2 一般正味財産	
一般正味財産	70,926
正味財産合計	125,926
負債及び正味財産合計	366,411

## 収支予算書(損益ベース)

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	32	△ 20
イ 事業収益	298,460	283,975	14,485
入園料	133,691	151,310	△ 17,619
レストラン売上	34,483	0	34,483
売店売上	72,238	78,745	△ 6,507
駐車場使用料	35,237	31,900	3,337
園内移動車両使用料	6,885	6,815	70
施設使用料	10,720	12,168	△ 1,448
その他使用料	5,181	3,012	2,169
預金利息	25	25	0
ウ 指定管理料	141,000	171,000	△ 30,000
エ 雑収入	2,650	2,780	△ 130
経常収益計	442,122	457,787	△ 15,665
(2) 経常費用			
ア 事業費	404,590	417,093	△ 12,503
報酬	5,750	5,750	0
給料	66,598	70,887	△ 4,289
職員手当	30,577	33,332	△ 2,755
法定福利費	14,142	15,185	△ 1,043
退職給付費用	0	2,600	△ 2,600
賃金	55,000	46,852	8,148
旅費	400	400	0
報償費	9,489	1,750	7,739
燃料費	11,750	10,000	1,750
光熱水費	22,700	18,310	4,390
備用品費	7,572	6,467	1,105
印刷製本費	1,012	892	120
通信運搬費	1,570	1,560	10
宣伝広告費	3,500	3,800	△ 300
イメージアップ戦略費	10,000	10,000	0

手数料	6,053	3,527	2,526
交際費	30	30	0
会議費	120	120	0
厚生福利費	365	250	115
負担金	595	400	195
被服費	200	250	△ 50
賃借料	4,122	870	3,252
雑費	30	30	0
委託費	25,096	71,534	△ 46,438
修繕費	3,100	1,263	1,837
保険料	982	792	190
原材料費	1,829	1,604	225
肥料農薬費	2,515	2,444	71
種苗費	34,273	32,049	2,224
園内装飾費	2,900	2,000	900
売店材料費	44,420	46,207	△ 1,787
食材費	15,800	0	15,800
大型イベント費	20,000	23,838	△ 3,838
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	2,000	2,000	0
イ 管理費	37,532	40,694	△ 3,162
報酬	5,750	6,073	△ 323
給料	12,503	13,470	△ 967
職員手当	5,635	5,938	△ 303
退職給付費用	0	400	△ 400
法定福利費	4,314	4,498	△ 184
公課費	300	916	△ 616
消費税	9,000	9,000	0
通信運搬費	0	10	△ 10
減価償却費	0	0	0
備用品費	30	200	△ 170
光熱水費	0	20	△ 20
賃借料	0	169	△ 169
経常費用計	442,122	457,787	△ 15,665
当期経常増減額	0	0	0



2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	70,926	35,717	35,209
一般正味財産期末残高	70,926	35,717	35,209
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	125,926	90,717	35,209

※収支予算書は「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

予定正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	合 計	公益目的会計	収益事業会計	法人会計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	12	0	0
イ 事業収益	298,460	179,219	119,241	0
ウ 受託料	0	0	0	0
ウ 指定管理料	141,000	103,468	0	37,532
エ 雑収入	2,650	2,550	100	0
経常収益計	442,122	285,249	119,341	37,532
(2) 経常費用				
ア 事業費	404,590	307,995	96,595	0
イ 管理費	37,532	0	0	37,532
経常費用計	442,122	307,995	96,595	37,532
当期経常増減額	0	△ 22,746	22,746	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	6,893	△ 6,893	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 15,853	15,853	0
一般正味財産期首残高	70,926	70,926	0	0
当期市建設負担金	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	70,926	55,073	15,853	0
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
(1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	125,926	110,073	15,853	0

## 資金計画

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当 年 度 予 定 額
<b>I 受入資金</b>	
1 基本財産利息収入	12
2 入園料収入	133,691
3 レストラン売上収入	34,483
4 売店売上収入	72,238
5 駐車場使用料収入	35,237
6 園内移動車両使用料収入	6,885
7 施設使用料収入	10,720
8 その他使用料収入	5,181
9 指定管理料収入	141,000
10 預金利息収入	25
11 雑収入	2,650
当 期 収 入 合 計	442,122
前 期 繰 越 収 支 差 額	125,926
収 入 合 計	568,048
<b>II 支払資金</b>	
1 事業費支出	404,590
2 管理費支出	37,532
当 期 支 出 合 計	442,122
当 期 収 支 差 額	0
次 期 繰 越 収 支 差 額	125,926

給与費明細

区 分	職 員 数	給 与				法 福 利 費	合 計
		報 酬	給 料	職 員 手 当	計		
本 年 度	職 員 25人 応援員 0人 計 25人	千円 11,500	千円 79,101	千円 36,212	千円 126,813	千円 18,456	千円 145,269
前 年 度	職 員 25人 応援員 0人 計 25人	11,823	84,357	39,270	135,450	19,683	155,133
比 較	職 員 0人 応援員 0人 計 0人	△323	△5,256	△3,058	△8,637	△1,227	△9,864
職員手当の内訳			千円			千円	
			扶養手当	1,770			
			調整手当	0			
			時間外手当	2,280			
			住居手当	750			
			通勤手当	1,908			
			期末手当	17,610			
			勤勉手当	9,482			
			管理職手当	2,412	計	36,212	

